

小児医療費助成の今後の行方は？

横浜市の小児医療費は、通院医療費助成を昨年に小学1年から小学3年まで拡充しましたが、平成29年度からは新たに小学4・5・6年生について、通院1回の負担上限額を500円までと更に拡充します。

500円の負担とした理由は？

※9月の議会で市長に質問しました！



《市長の答弁》

子どもが受診した場合の、1人あたりの医療費実績などを26年度の事業実績から分析したところ、通院1回あたり、3割負担で平均約1,500円の窓口負担となっていることを踏まえまして、新たに対象となる小学4年生から小学6年生に対しては、約1割相当額の500円を、負担していただくことにしました。

横浜市は、小児医療制度の助成対象となる家庭に所得制限を設けています。他の自治体では、旧児童手当の基準に準拠、新しい児童手当の基準に準拠、所得制限なしの3つに分類されます。横浜市は、旧児童手当の基準を採用していて3人家族モデルで所得616万円未満と一番厳しい基準を採用しています。

更に制限の緩和や対象拡大しないの？

《市長の答弁》

医療費への負担感が大きい方に対して、経済的負担を軽減できるよう、対象年齢の拡大に力を入れてきました。今後については、国の動向や本市の財政状況、来年の4月以降の実施状況などを見ながら、さまざまな角度からの検討が必要だと考えています。

例えば上限500円の一部負担で対象を中学1・2・3年まで拡大すると、予算は約6億5千万円が必要です。小学4・5・6年を所得制限なしにすると、予算は約26億5千万円が必要となります。北海道の南富良野町では、子どもが就学中であれば、所得制限なく、通院も入院も22歳まで医療費は無料です。横浜市は新市庁舎の建設費に750億円も使う前にやるべきことがあるのではないのでしょうか？

やるべきことはたくさんある！ 有村としひこ市政報告 vol.038



横浜市議員 有村としひこ 事務所

〒230-0061 横浜市鶴見区佃野町 23-40 ※レアルつくのアーケードの中

TEL.045-717-6544 FAX.045-717-6545

事務所は月・火・木(10時～17時)開いています！

- 昭和45年4月生まれ
 - 神奈川県立相模原高校卒業
サッカー部(ゴールキーパー)
全国高校サッカー選手権大会神奈川県予選決勝
 - 明治大学理工学部機械工学科卒業
 - 大成建設
ダム・トンネル・大規模建築工事の施工管理10年
その後本社にてプロジェクトマネジメント担当
 - 平成22年に市議員を目指し大成建設を退社
 - 平成23年横浜市議員初当選(みんなの党公認)
 - 平成27年2期目当選
- 議員秘書経験なし！身内や親戚に議員もいません！
真面目に暮らす人が報われる世の中になりたい！

▶ www.arimu.com
▶ info@arimu.com



市政報告会



議会本会議一般質問



事務所ちょっとだけ移転しました！